

救命救急科・救急診療部

1 教育目標

(1) 一般目標

講義で得た基本的知識と最新の情報を駆使し、救命救急医療を行う上での基本的診療能力を身につける。即ち、危機的状態にある患者に対して、医師として初期評価と初期治療及び重症患者管理を自ら行うことができるようになるための知識と技術を体得する。

クリニカル・クラークシップBでは患者を数名担当し、救急に必要な基本的手技を実践するとともに、症例の要約、プレゼンテーション能力を養う。患者、コメディカルと良好なコミュニケーションをとり協調して患者診療にあたることにより、クリニカル・クラークシップAに比し一歩踏み込んだ病態解析能力、基本的実技の習得を目標とする。

(2) 行動目標

態度

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

1. 医の倫理に基づいた適切な態度がとれる。
2. チーム医療を認識し個々の医療スタッフの役割が理解できる。

知識

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

1. 救急患者の緊急度、重症度が説明できる。
2. 救急医療は救急現場から始まることを認識し、初療の重要性が説明できる。
3. 看護記録、検温表、バイタル記録等のカルテ情報から病態を説明できる。
4. 医療安全を優先した医療を説明できる。
5. 代表的な救急症候を説明できる。

【クリニカル・クラークシップB】

6. 外因性、内因性救急患者に対する初期対応が説明できる。
7. 緊急薬剤の説明ができる。
8. 緊急検査結果を説明できる。
9. 高度侵襲に対する生体反応を理解し説明ができる。

技能

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

1. バイタルサインの測定ができ、その異常を説明できる。
2. ABCの異常を確認でき、対応が説明できる。
3. SOAPに従って病歴を記載できる。
4. 標準予防策が実施できる。
5. 末梢静脈穿刺が実施できる。
6. 基本的な救命処置が実施できる。

2 実習要領

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

1. 患者を診察する場合は以下のことに注意して下さい。① 担当医に診察してよいか許可を得ること。② 患者に挨拶し名乗り「診察させて下さい」と必ず申し出ること。③ 敬語を用いて話すこと。④ これから行うこと（視診・聴診・触診）を必ず説明すること。

【クリニカル・クラークシップA】

2. 実習初日、学生用実習着を着用し、8:15に救急外来に集合して下さい。オリエンテーションを行い、終了時に基本事項に関する確認テストを行います。実習最終日に救命救急科・救急診療部の教官による口頭試問を行います。

3. 研修医とペアを組んで初療室での実習を行います。救急車受入のホットラインの内容を聞いて、鑑別診断に上がる疾患を事前に列挙し、ペアの研修医と検査、診察を行います。患者に接する時には原則として、サージカルマスク（あるいはN95マスク）、手袋、必要に応じてフェイスシールド（アイガード）を装着して行います。手袋は、症例毎に交換することが必要です。

【クリニカル・クラークシップB】

4. クリニカル・クラークシップBは麻酔科用学生実習着に院内用シューズを着用し、朝8:20までに、EICUカンファレンスルームに集合して下さい。カンファレンス終了後にオリエンテーションを行います。
5. EICUでの実習について：EICUでは患者を決めて部門システム、電子カルテを見て患者情報を入手して下さい。疑問点があれば研修医や救命救急科医師に尋ねて下さい。EICUセンターテーブルにあるテキスト類は自由に見てもかまいませんが、使用後は元の位置に必ず戻しておいて下さい。
6. 当直実習について：1日1名です。班内で調整しオリエンテーション時に決めます。祝日・祝日前日は行いません。当直当日はPHS番号を当直医に伝え、就眠中に救急車が来たら呼んでもらうようお願いして下さい。当直翌日の午後は自主研鑽とし実習は強制しません。
7. EICUでは初日に担当患者を決めます。必ず毎日部門システム、電子カルテを参照して、患者の経過を確認して下さい。自分で調べてもわからないことがあれば研修医や救命救急科医師に尋ねて下さい。
8. 診察後は救命救急科学生用カルテに、所見・アセスメント・プラン等を記載して下さい。毎日、学生担当医師よりチェック、指導を行います。
9. 最終週には実習中に担当した症例のまとめをレポートにまとめ、5分以内でプレゼンテーションしてもらいます。
あらかじめ指導教官を決めますので教官の指示に従って下さい。
10. 第1週にシミュレーションセンターで科別OSCEの説明と講義を行う。
第4週にシミュレーションセンターで科別OSCEを行う。

3 実習の評価方法

同じ受け持ち患者を担当する指導医が報告した内容を加味し、主任教授が総合的に評価する。
出席状況・知識・技能及びマナー・コミュニケーション等も評価対象とする。

4 クリニカル・クラークシップ指導連絡員

職 名	教 員 名		
名誉教授	野口 宏		
教 授	渡邊 栄三	加納 秀記	津田 雅庸
准 教 授			
講 師	梶田 裕加	寺島 嗣明	田邊 すばる
助 教	勝木 竜介	錦見 満暁	甲斐 貴之
	大石 大	加藤 浩介	久下 祐史
専 修 医	原 公彦	江崎 貴之介	松村 涼汰
	安藤 隼斗		

5 連絡先

場所（内線）	救命救急科医局
	0561-63-1957
E-mail	critical@aichi-med-u.ac.jp

6 クリニカル・クラークシップA 週間予定表

【初日の集合時間／場所】

8:15／救急外来

【祝日の場合】※火曜日

8:15／救急外来

曜日	午 前			午 後		
	内 容	担当者	実習室	内 容	担当者	実習室
月	8:15 救急外来 オリエンテーション 救急車搬入患者の診察	野口宏 加納秀記 専攻医	救急外来 1F カンファ 初療室	救急車搬入患者の診察	加納秀記 専攻医	初療室
火	8:15 救急車搬入患者の診察	加納秀記 専攻医	初療室	救急車搬入患者の診察	加納秀記 専攻医	初療室
水	8:15 救急車搬入患者の診察	専攻医	初療室	救急車搬入患者の診察	専攻医	初療室
木	8:15 救急車搬入患者の診察	加納秀記 専攻医	初療室	救急車搬入患者の診察	加納秀記 専攻医	初療室
金	8:15 救急車搬入患者の診察	加納秀記 専攻医	初療室	救急車搬入患者の診察 症例のまとめ 口頭試問	加納秀記 専攻医	初療室

7 クリニカル・クラークシップB 週間予定表

基本的には担当医の指示のもと行動する。

症例検討，教授回診など参加すべき定期的実習・演習のみを示す。

【初日の集合時間／場所】

8:30／中央棟4階 EICU カンファ

【祝日の場合】※火曜日

8:30／中央棟4階 EICU カンファ

曜日	午 前			午 後		
	内 容	担当者	実習室	内 容	担当者	実習室
月	8:30 EICU カンファレンス オリエンテーション(初日)	渡邊 渡邊	EICU カンファ EICU	救急車搬入患者の診察と診療 補助	梶田 寺島 大石/加藤 久下/江崎	初療室 EICU
	救急車搬入患者の診察と診療 補助 集中治療室の見学と診療補助 ブリーフィング	梶田 寺島/大石 /加藤		集中治療室の見学と診療補助 ブリーフィング		
火	8:30 EICU カンファレンス	渡邊 津田	EICU カンファ EICU	救急車搬入患者の診察と診療 補助 集中治療室の見学と診療補助	津田 勝木田邊 甲斐/大石 久下 原/松村	初療室 EICU
	救急車搬入患者の診察と診療 補助 集中治療室の見学と診療補助 ブリーフィング	勝木田邊 錦見/甲斐 大石/久下		ブリーフィング 夜間当直(随時)	当直医	4階当直室
水	8:30 EICU カンファレンス 救急車搬入患者の診察と診療 補助 集中治療室の見学と診療補助	梶田 寺島/勝木 田邊/錦見 甲斐/大石 加藤/久下 江崎	EICU カンファ EICU	救急車搬入患者の診察と診療 補助 集中治療室の見学と診療補助	梶田/寺島 勝木/田邊 錦見 甲斐/大石 加藤/久下 安藤/江崎	初療室 EICU
	ブリーフィング			ブリーフィング 夜間当直(随時)	当直医	4階当直室
木	8:30 EICU カンファレンス	渡邊	EICU カンファ	救急車搬入患者の診察と診療 補助 集中治療室の見学と診療補助	勝木/錦見 安藤 加藤	初療室 EICU
	救急車搬入患者の診察と診療 補助 集中治療室の見学と診療補助 ブリーフィング	勝木/加藤	EICU	ブリーフィング 夜間当直(随時)	当直医	4階当直室
金	8:30 EICU カンファレンス	渡邊	EICU カンファ	救急車搬入患者の診察と診療 補助 集中治療室の見学と診療補助 症例のまとめ	梶田/寺島 田邊/原 江崎/松村	初療室 EICU
	救急車搬入患者の診察と診療 補助 集中治療室の見学と診療補助 ブリーフィング	梶田/甲斐 江崎/松村	EICU	Weekly summary または総括 発表(最終日)	渡邊	